

# 食品ニューテクノロジー研究会 2017年12月例会 機能水の新展開

日時 : 平成28年12月8日(金) 13時30分～  
会場 : アキバプラザ 7階 EXルーム <千代田区神田練堀町3>  
参加費 : ￥16,200(税込) 食品ニューテクノロジー研究会 会員無料

【座長:】 一般財団法人機能水研究振興財団 理事長 堀田国元氏

継続飲用により胃腸症状の改善効果を示すアルカリオン水と、安全で効果的な洗浄殺菌料として食品分野に広まっている次亜塩素酸水(酸性電解水)に関するこの1, 2年間の新展開の紹介を企画した。アルカリオン水に関しては最新の分子生物学的手法による腸内微生物フローラへの影響解析、次亜塩素酸水に関しては生成装置のJIS規格制定や使用現場における結果の即時評価についてである。

【講演Ⅰ】 13:40～14:50

## 腸内フローラへのアルカリオン水の影響

京都府立医科大学大学院 消化器内科学 准教授 内藤裕二氏

最新の分析手法と機器の進歩により膨大な量の腸内微生物フローラを遺伝子レベルで解析できるようになっており、さらに便の代謝物などに対応する情報も一挙に測定できるようになっている。アルカリオン水(pH9～10の飲用アルカリ性電解水)は、1L程度の継続飲用により胃腸症状(下痢・便秘)改善効果を示すことが薬事認可されている。演者は、この効果をマウスにおいて再現し、上記の最新手法を駆使して解析した。結果、高脂肪食便秘モデルのマウスが、アルカリオン水の継続投与によって腸内の有害な菌の増殖を防ぐ短鎖脂肪酸が多くなり、脂肪消化を妨げる菌が減少することが明らかとなった。飲用水が腸内フローラに影響を与えるエビデンスが示された最初の例である。

<プロフィール> 2001年米国ルイジアナ州立大学医学部分子細胞生理学教室客員教授。05年(独法)科学技術振興機構科学技術振興調整費研究領域主幹。09年京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学准教授。15年～現在 同学附属病院内視鏡・超音波診療部部長。  
専門: 炎症性腸疾患, 腸内フローラ, 消化器病学

【講演Ⅱ】 15:00～16:10

## 次亜塩素酸水および生成装置をめぐる新展開 JIS規格の制定、使用現場での性能評価

一般財団法人機能水研究振興財団 理事長 堀田国元氏

アクアシステム株式会社 代表取締役 狩野清史氏

次亜塩素酸水は生成装置とセットで認可されたが、生成装置の保守管理は事業者任せになっていた。そうした中、認可を取得したメーカーが中心となって策定した生成装置に関する自主基準をベースに、次亜塩素酸水と装置の性能の信頼性を向上させるためにJIS規格化に取り組んできたが、本年10月にJISが制定された。そのプロセス、内容(性能試験法)について概説する。

一方、使用現場では次亜塩素酸水を製造・使用した際の結果を即時評価できる方法が求められている。それらは、生成した有効塩素の流水中の濃度、衛生処理後の清浄度および菌の状態の測定である。その中から特に、スマホを通して生の微生物を観察できる顕微鏡について解説する。

<狩野清史プロフィール>

1991年アクアシステム(株)(当時 日本インテック通商(株))入社、2004年取締役。11年3月代表取締役就任。現在に至る。微酸性電解水協議会理事、ATP・迅速検査研究会理事、日本機能水学会関東支部幹事、次亜塩素酸水生成装置JIS原案作成委員会委員、バイオリジカル顕微鏡JIS原案作成委員会委員など。

【座長まとめ】 16:10～16:30

【名刺交換会】 16:30～18:00 アキバプラザ 7階 プレゼンルーム

お問い合わせ先:

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 中山清美  
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第一南桜ビル7階  
TEL03-3432-4664 FAX03-3459-4654 携帯090-3146-7995

# 機能水の新展開

食品ニューテクノロジー研究会

12月8日申込書

FAXで03-3459-4654までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行しておりません。

会社名	
住所	〒
電話	
FAX	
お名前	部署／お役職

会場案内

## 富士ソフト アキバプラザ

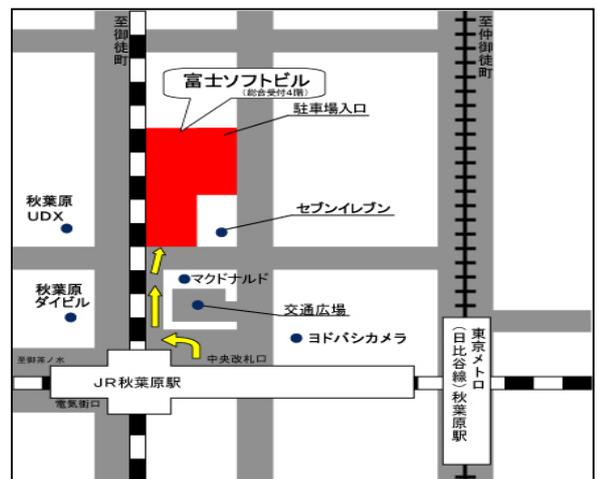


〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3

富士ソフト秋葉原ビル 7階 EXルーム

TEL : 03-5209-6285

※ ファリミーマート前のエレベーターで7階にお上がりください。



◎ [セミナー情報](http://bit.ly/Ke3If3) <http://bit.ly/Ke3If3>

◎ [セミナー申込](http://bit.ly/1cSZRck) <http://bit.ly/1cSZRck>

提供いただきました個人情報、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。

平成30年2月 予定

『食品機能評価としてのヒト摂取試験の現状、課題と将来』(仮題)

座長 : 雪印メグミルク㈱ 常務執行役員 小西寛昭氏